





## Ⅱ 調査結果の概要

注) 文中において、今期、来期については、特に説明がない限り、以下の時期である。













- 前期 平成28年 1月～平成28年 6月期
- 今期 平成28年 7月～平成28年 12月期
- 来期 平成29年 1月～平成29年 6月期

## 1. 景況天気図





























### 【業況判断(全体)】

	H28年7~9月期(実績)	H28年10~12月期(実績)	H29年1~3月期(見込み)	H29年4~6月期(見通し)
全体				
BSI	(▲23.9)	(▲22.3)	(▲28.3)	(▲23.8)

### 【従業者規模別】







	H28年7~9月期(実績)	H28年10~12月期(実績)	H29年1~3月期(見込み)	H29年4~6月期(見通し)
4人以下				
BSI	(▲37.7)	(▲35.4)	(▲34.9)	(▲27.2)
5人~19人				
BSI	(▲25.0)	(▲24.4)	(▲29.8)	(▲24.4)
20人以上				
BSI	(▲12.3)	(▲10.5)	(▲22.0)	(▲20.7)

### 【業種別】

	H28年7~9月期(実績)	H28年10~12月期(実績)	H29年1~3月期(見込み)	H29年4~6月期(見通し)
製造業計				
BSI	(▲27.0)	(▲27.4)	(▲25.3)	(▲22.0)
非製造業計				
BSI	(▲23.1)	(▲20.9)	(▲29.1)	(▲24.3)
建設業				
BSI	(▲19.7)	(▲15.5)	(▲30.2)	(▲31.1)
運輸・通信業				
BSI	(▲19.1)	(▲18.5)	(▲29.0)	(▲18.4)
卸・小売業				
BSI	(▲31.3)	(▲33.5)	(▲35.2)	(▲27.8)
飲食・宿泊業				
BSI	(▲29.2)	(▲29.2)	(▲29.9)	(▲20.5)
サービス業				
BSI	(▲19.5)	(▲14.3)	(▲23.5)	(▲21.0)

※ 各期のBSIが前期と比べて10ポイント以上の差が生じた場合には、矢印を表記している。

### 【凡例】

天気マーク						
BSI水準	(30.1~)	(10.1~30.0)	(▲10.0~10.0)	(▲10.1~▲30.0)	(▲30.1~▲50.0)	(▲50.1~)

## 2. 調査結果の総括

新潟市内事業所の「業況判断」について、平成28年7～9月期は同4～6月期から改善した。続く28年10～12月期は同7～9月期からさらに改善した。足元の29年1～3月期は28年10～12月期から悪化する見込みとなっているが、先行きの同4～6月期は再び改善する見通しとなっている。

今期における他の主要項目のBSIをみると、「生産・売上」、「受注」、「出荷量」は上昇した。「資金繰り」は改善し、「製・商品在庫」は過剰超幅が縮小した。また、価格では「仕入価格」と「販売価格」がともに上昇した。雇用では「所定外労働時間」はほぼ同水準で推移したが、「一人当たり人件費」は上昇した。

経営上の問題については、「人材不足」の割合が最も高く、以下「生産・受注・売上げ不振」、「競争の激化」、「労働力不足」と続いている。

業界の動向としては、新たな事業への取り組みや販路開拓による取引先の増加などから、業況が改善したとの声がある一方、競争激化による受注環境の悪化、原材料等の仕入価格上昇、人手不足や人件費の高止まりによって、業況悪化を懸念する声が多数みられた。

## 3. 新潟市景況調査結果(BSI)の総括表

1. 業況 P. 12～	<ul style="list-style-type: none"> <li>28年7～9月期の業況感を示した業況BSI(「良い」-「悪い」)は▲23.9と、28年4～6月期の▲34.1から10.2ポイント改善した。続く28年10～12月期は▲22.3と、同7～9月期からさらに1.6ポイント改善した。</li> <li>足元の29年1～3月期は▲28.3となり、28年10～12月期から6.0ポイント悪化し、先行きの29年4～6月期は▲23.8と、同1～3月期から4.5ポイント改善する見通しとなっている。</li> </ul>
2. 生産・売上 P. 20～	<ul style="list-style-type: none"> <li>今期の生産・売上BSI(「増加」-「減少」)は▲16.7と、前期(▲23.6)から6.9ポイント上昇した。来期は▲18.7と、今期から2.0ポイント低下する見込みとなっている。</li> </ul>
3. 受注 (製造業・建設業のみ) P. 25～	<ul style="list-style-type: none"> <li>今期の受注BSI(「増加」-「減少」)は▲23.7と、前期(▲32.1)から8.4ポイント上昇した。来期は▲26.6と、今期から2.9ポイント低下する見込みとなっている。</li> </ul>
4. 出荷 (製造業のみ) P. 28～	<ul style="list-style-type: none"> <li>今期の出荷量BSI(「増加」-「減少」)は▲16.9と、前期(▲24.0)から7.1ポイント上昇した。来期は▲15.1と、今期からさらに1.8ポイント上昇する見込みとなっている。</li> <li>今期の出荷額BSI(「増加」-「減少」)は▲16.5と、前期(▲20.8)から4.3ポイント上昇した。来期は▲16.0と、今期とほぼ同水準で推移する見通しとなっている。</li> </ul>
5. 在庫水準 (原材料在庫は製造業のみ) P. 33～	<ul style="list-style-type: none"> <li>今期の製・商品在庫BSI(「過剰」-「不足」)は1.7と、前期(2.9)から1.2ポイント過剰超幅が縮小した。来期については1.3と、在庫の適正化がさらに進む見込みとなっている。</li> <li>今期の原材料在庫BSI(「過剰」-「不足」)は1.7と、前期(2.7)とほぼ同水準で推移した。来期は▲0.4と、今期から2.1ポイント低下し、不足超に転じる見込みとなっている。</li> </ul>
6. 価格 P. 41～	<ul style="list-style-type: none"> <li>今期の仕入価格BSI(「上昇」-「低下」)は14.2と、前期(12.1)から2.1ポイント上昇した。来期については16.6と、今期からさらに2.4ポイント上昇する見込みとなっている。</li> <li>今期の販売価格BSI(「上昇」-「低下」)は▲9.0と、前期(▲11.0)から2.0ポイント上昇した。来期は▲6.3と、今期からさらに2.7ポイント上昇する見込みとなっている。</li> </ul>
7. 資金繰り P. 51～	<ul style="list-style-type: none"> <li>今期の資金繰りBSI(「好転」-「悪化」)は▲13.1と、前期(▲16.4)から3.3ポイント改善した。来期は▲12.7と、今期とほぼ同水準で推移する見込みとなっている。</li> </ul>

8. 雇用 P. 56～	<ul style="list-style-type: none"> <li>28年度の雇用BSI(正社員の数) (「増加」－「減少」)は▲1.0と、27年度(0.8)から1.8ポイント低下し、プラスからマイナスに転じた。29年度は10.2と、今期から11.2ポイント上昇し、再びプラスに転じる見通しとなっている。</li> <li>28年度の臨時・パート社員等の雇用BSI(「増加」－「減少」)は0.9と、27年度(▲0.5)から1.4ポイントし、マイナスからプラスに転じた。29年度は0.9と横ばいで推移する見通しとなっている。</li> <li>今期の所定外労働時間BSI(「増加」－「減少」)は▲6.5と、前期(▲7.5)とほぼ同水準で推移した。来期は▲8.0と、今期から1.5ポイント低下する見込みとなっている。</li> <li>今期の1人当たり人件費BSI(「増加」－「減少」)は25.1と、前期(17.1)から8.0ポイント上昇した。来期は22.4と、今期より2.7ポイント低下する見込みとなっている。</li> </ul>
9. 設備投資動向 P. 76～	<ul style="list-style-type: none"> <li>今期の生産設備BSI(「過剰」－「不足」)は▲2.5と、前期(▲0.9)から1.6ポイント低下し、不足超幅が拡大した。来期は▲5.9と、今期から3.4ポイント低下し、不足超幅がさらに拡大する見込みとなっている。</li> <li>今期の営業用設備BSI(「過剰」－「不足」)は▲3.3と、前期(▲4.1)とほぼ同水準で推移した。来期は▲3.7と、今期とほぼ同水準で推移する見込みとなっている。</li> <li>28年度における設備投資の実施事業所割合(実績見込み)は29.3%と、27年度より5.4ポイント上昇する見込みとなっている。29年度は20.2%と、28年度から9.1ポイント低下する見通しとなっている。</li> <li>28年度の設備投資目的としては、「既存機械・設備の入れ替え」が58.4%と、最も高くなっている。</li> </ul>
10. 経営上の問題 P. 85～	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営上の問題については(複数回答)、「人材不足」(42.6%)の割合が最も高く、以下「生産・受注・売上げ不振」(37.2%)、「競争の激化」(28.2%)、「労働力不足」(27.8%)と続いている。</li> </ul>

## 4. 業種別 新潟市景況調査結果(BSI)の総括表

製造業	<ul style="list-style-type: none"> <li>28年7～9月期の業況判断BSIは▲27.0と、同4～6月期(▲31.2)から4.2ポイント改善した。続く28年10～12月期は▲27.4と、同7～9月期とほぼ同水準で推移したが、足元の29年1～3月期は▲25.3と、改善する見込みである。先行きについてみると、29年4～6月期は▲22.0と、さらに改善する見通しとなっている。</li> <li>今期の生産・売上BSIは▲19.9と、前期(▲25.3)から5.4ポイント上昇した。来期は▲15.6と、さらに上昇する見込みとなっている。</li> <li>今期の受注BSIは▲19.0と、前期(▲22.6)から3.6ポイント上昇した。来期は▲16.5と、さらに上昇する見込みとなっている。</li> <li>今期の製・商品在庫BSIは0.4と、前期(3.2)から2.8ポイント低下し、適正化が進んだ。来期は0.9と、今期とほぼ同水準で推移する見込みとなっている。</li> <li>今期の仕入価格BSIは12.7と、前期(13.1)とほぼ同水準で推移した。一方、今期の販売価格BSIは▲12.6と、前期(▲19.0)から6.4ポイント上昇した。</li> <li>今期の資金繰りBSIは▲13.9と、前期(▲15.9)から2.0ポイント改善した。来期は▲14.4と、ほぼ同水準で推移する見込みである。</li> <li>28年度における設備投資の実施事業所割合は35.6%と、前年度(29.3%)から上昇する見込みである。</li> <li>経営上の問題については(複数回答)、「生産・受注・売上げ不振」(44.3%)の割合が最も高く、以下「仕入価格の上昇」(37.1%)、「人材不足」(30.8%)、と続いている。</li> </ul>
-----	---

非製造業 計	<ul style="list-style-type: none"> <li>28年7～9月期の業況判断BSIは▲23.1と、同4～6月期(▲34.8)から11.7ポイント改善した。続く28年10～12月期は▲20.9と、さらに2.2ポイント改善したが、足元の29年1～3月期は▲29.1と、28年10～12月期から8.2ポイント悪化する見込みである。先行きについてみると、29年4～6月期は▲24.3と、再び改善する見通しとなっている。</li> <li>今期の生産・売上BSIは▲15.9と、前期(▲23.2)から7.3ポイント上昇した。来期は▲19.6と、低下する見込みとなっている。</li> <li>今期の仕入価格BSIは14.6と、前期(11.9)から2.7ポイント上昇した。また、今期の販売価格BSIは▲8.0と、前期(▲9.1)から1.1ポイント上昇した。</li> <li>今期の資金繰りBSIは▲12.9と、前期(▲16.5)から3.6ポイント改善した。来期は▲12.3と、ほぼ同水準で推移する見込みである。</li> <li>28年度における設備投資の実施事業所割合は27.6%と、前年度(22.4%)から上昇する見込みである。</li> <li>経営上の問題については(複数回答)、「人材不足」(45.7%)の割合が最も高く、以下「生産・受注・売上げ不振」(35.3%)、「労働力不足」(29.5%)と続いている。</li> </ul>
建設業	<ul style="list-style-type: none"> <li>28年7～9月期の業況判断BSIは▲19.7と、同4～6月期(▲39.5)から19.8ポイント改善した。続く28年10～12月期は▲15.5と、さらに4.2ポイント改善したが、足元の29年1～3月期は▲30.2と、28年10～12月期から14.7ポイント悪化する見込みである。先行きについてみると、29年4～6月期は▲31.1と、ほぼ同水準で推移する見通しとなっている。</li> <li>今期の生産・売上BSIは▲21.0と、前期(▲33.9)から12.9ポイント上昇した。来期は▲26.1と、低下する見込みとなっている。</li> <li>今期の受注BSIは▲28.7と、前期(▲41.9)から13.2ポイント上昇した。来期は▲37.5と、低下する見込みとなっている。</li> <li>今期の仕入価格BSIは9.6と、前期(10.2)とほぼ同水準で推移した。一方、今期の販売価格BSIは▲16.4と、前期(▲17.7)から1.3ポイント低下した。</li> <li>今期の資金繰りBSIは▲13.2と、前期(▲25.1)から11.9ポイント改善した。来期は▲17.8と、悪化する見込みである。</li> <li>28年度における設備投資の実施事業所割合は26.2%と、前年度(22.0%)から上昇する見込みである。</li> <li>経営上の問題については(複数回答)、「人材不足」(49.8%)の割合が最も高く、以下「生産・受注・売上げ不振」(47.0%)、「労働力不足」(40.2%)と続いている。</li> </ul>
運輸・通信業	<ul style="list-style-type: none"> <li>28年7～9月期の業況判断BSIは▲19.1と、同4～6月期(▲28.7)から9.6ポイント改善した。続く28年10～12月期は▲18.5と、ほぼ同水準で推移したが、足元の29年1～3月期は▲29.0と、28年10～12月期から10.5ポイント悪化する見込みである。先行きについてみると、29年4～6月期は▲18.4と、再び改善する見通しとなっている。</li> <li>今期の生産・売上BSIは▲7.8と、前期(▲18.9)から11.1ポイント上昇した。来期は▲9.9と、低下する見込みとなっている。</li> <li>今期の仕入価格BSIは4.9と、前期(2.8)から2.1ポイント上昇した。一方、今期の販売価格BSIは▲4.2と、前期(▲2.8)から1.4ポイント低下した。</li> <li>今期の資金繰りBSIは▲3.5と、前期(▲5.6)から2.1ポイント改善した。来期は▲2.1と、さらに改善する見込みである。</li> <li>28年度における設備投資の実施事業所割合は38.1%と、前年度(30.2%)から上昇する見込みである。</li> <li>経営上の問題については(複数回答)、「人材不足」(53.2%)の割合が最も高く、以下「労働力不足」(37.6%)、「生産・受注・売上げ不振」(30.5%)と続いている。</li> </ul>

	<p>卸・小売業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>28年7～9月期の業況判断BSIは▲31.3と、同4～6月期(▲44.4)から13.1ポイント改善した。続く28年10～12月期は▲33.5と、同7～9月期から2.2ポイント悪化し、足元の29年1～3月期は▲35.2とさらに悪化する見込みである。先行きについてみると、29年4～6月期は▲27.8と、再び改善する見通しとなっている。</li> <li>今期の生産・売上BSIは▲22.7と、前期(▲30.3)から7.6ポイント上昇した。来期は▲24.5と、低下する見込みとなっている。</li> <li>今期の仕入価格BSIは17.0と、前期(7.4)から9.6ポイント上昇した。また、今期の販売価格BSIは▲9.1と、前期(▲13.0)から3.9ポイント上昇した。</li> <li>今期の資金繰りBSIは▲15.9と、前期(▲13.0)から2.9ポイント悪化した。しかし、来期は▲14.8と、やや改善する見込みである。</li> <li>28年度における設備投資の実施事業所割合は25.0%と、前年度(25.0%)と同水準になる見込みである。</li> <li>経営上の問題については(複数回答)、「人材不足」(47.2%)の割合が最も高く、以下「競争の激化」(40.3%)、「生産・受注・売上げ不振」(39.8%)と続いている。</li> </ul>
<p>非製造業</p>	<p>飲食・宿泊業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>28年7～9月期の業況判断BSIは▲29.2と、同4～6月期(▲44.2)から15.0ポイント改善した。続く28年10～12月期は▲29.2と、同7～9月期から横ばいで推移し、足元の29年1～3月期は▲29.9とほぼ同水準で推移する見込みである。先行きについてみると、29年4～6月期は▲20.5と、改善する見通しとなっている。</li> <li>今期の生産・売上BSIは▲15.0と、前期(▲17.5)から2.5ポイント上昇した。来期は▲21.2と、低下する見込みとなっている。</li> <li>今期の仕入価格BSIは44.9と、前期(42.5)から2.4ポイント上昇した。一方、今期の販売価格BSIは▲3.9と、前期(▲0.8)から3.1ポイント低下した。</li> <li>今期の資金繰りBSIは▲19.7と、前期(▲25.8)から6.1ポイント改善した。来期は▲14.9と、さらに改善する見込みである。</li> <li>28年度における設備投資の実施事業所割合は23.0%と、前年度(14.0%)から上昇する見込みである。</li> <li>経営上の問題については(複数回答)、「仕入価格の上昇」(55.1%)の割合が最も高く、以下「人材不足」(40.9%)、「生産・受注・売上げ不振」(32.3%)と続いている。</li> </ul>
	<p>サービス業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>28年7～9月期の業況判断BSIは▲19.5と、同4～6月期(▲23.6)から4.1ポイント改善した。続く28年10～12月期は▲14.3と、さらに改善したが、足元の29年1～3月期は▲23.5と、28年10～12月期から9.2ポイント悪化する見込みである。先行きについてみると、29年4～6月期は▲21.0と、再び改善する見通しとなっている。</li> <li>今期の生産・売上BSIは▲11.5と、前期(▲14.4)から2.9ポイント上昇した。来期は▲15.0と、低下する見込みとなっている。</li> <li>今期の仕入価格BSIは7.6と、前期(6.8)とほぼ同水準で推移した。一方、今期の販売価格BSIは▲4.0と、前期(▲6.8)から2.8ポイント上昇した。</li> <li>今期の資金繰りBSIは▲12.3と、前期(▲13.2)とほぼ同水準で推移した。来期は▲9.9と、改善する見込みである。</li> <li>28年度における設備投資の実施事業所割合は27.1%と、前年度(20.8%)から上昇する見込みである。</li> <li>経営上の問題については(複数回答)、「人材不足」(39.3%)の割合が最も高く、以下「人件費の増加」(31.0%)、「競争の激化」(29.8%)と続いている。</li> </ul>